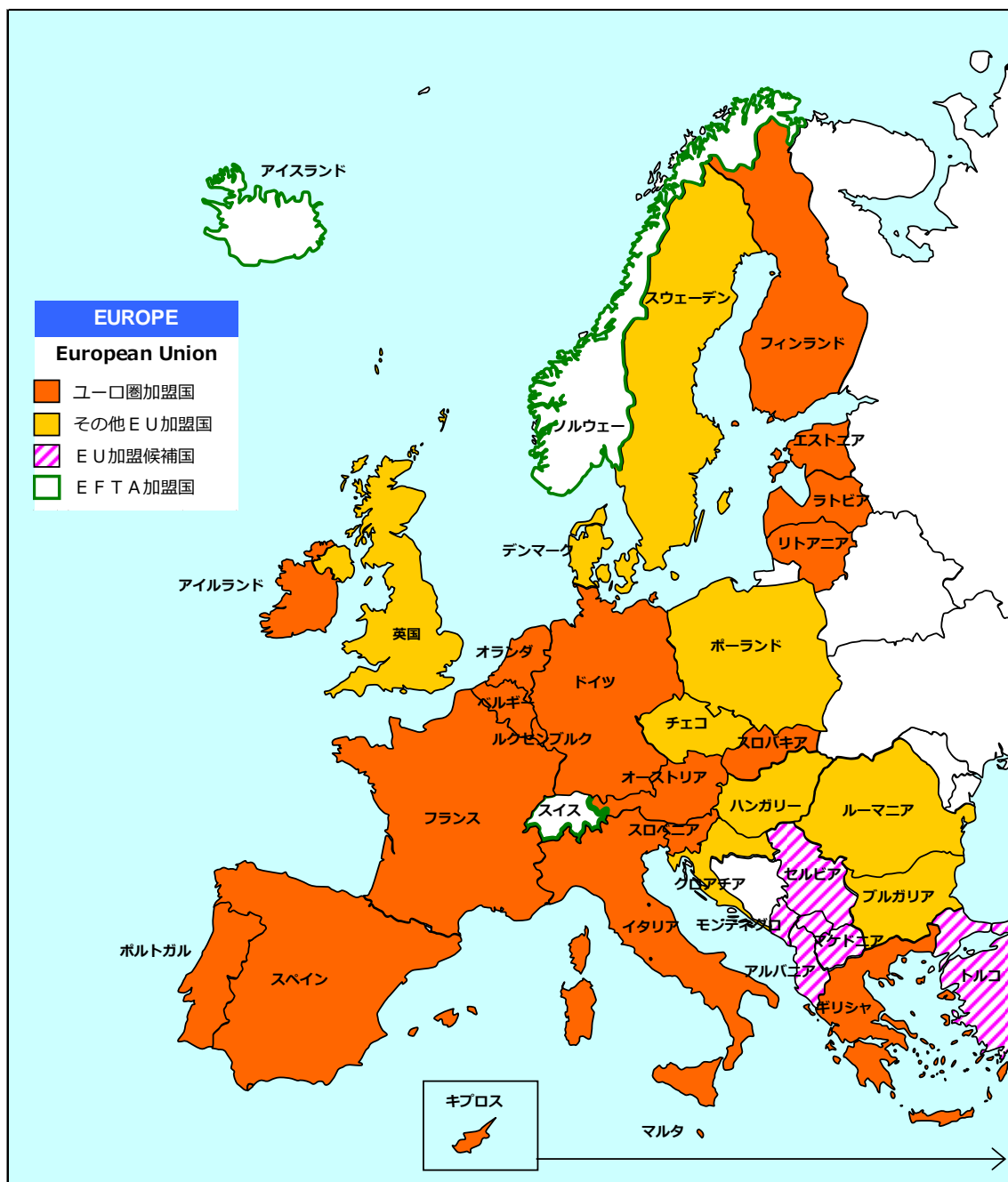


2017年3月23日 全13頁

欧州経済アップデート (2017.3)

経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

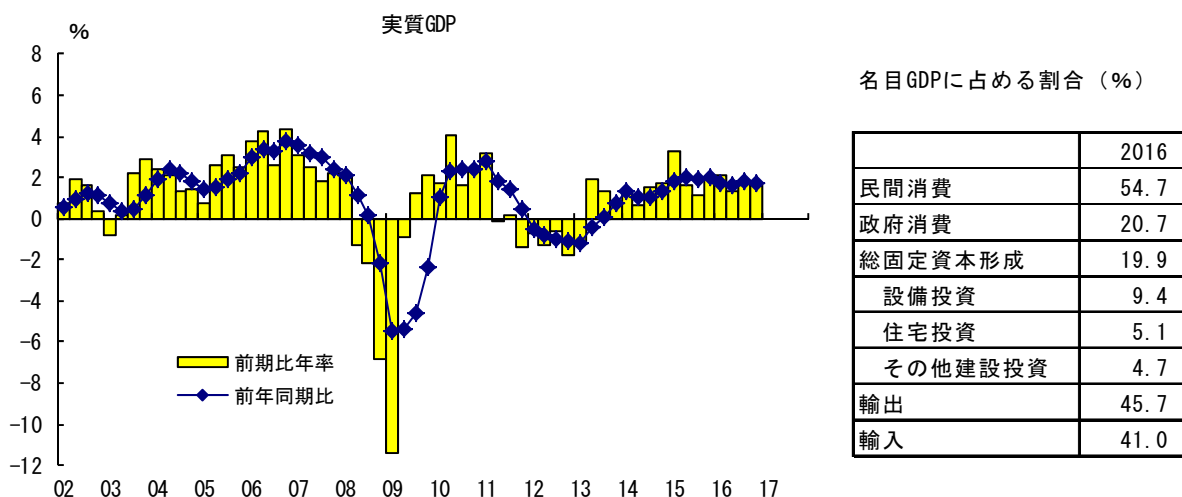


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- ユーロ圏経済は 16 年 Q4 は前期比+0.4%成長、2016 年は前年比+1.7%成長
- 16 年 Q4 も引き続き内需が牽引役で、個人消費と政府消費はそれぞれ前期比+0.4%へ加速。総固定資本形成は 16 年 Q3 の同-0.7%から同+0.6%へ持ち直した
- 輸出も前期比+1.5%と加速したが、輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったため、純輸出寄与度は前期比-0.1%pt とマイナス寄与に転じた



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4
個人消費	0.0	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.7	0.3	0.3	0.4
政府消費	-0.1	0.1	0.4	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.3	0.1	0.4
総固定資本形成	0.6	-0.6	0.6	0.6	1.6	0.0	0.8	1.4	0.3	1.2	-0.7	0.6
設備投資	0.8	0.3	1.1	1.1	2.0	0.5	1.1	1.4	-0.2	2.8	-2.1	0.4
住宅投資	1.2	-1.6	0.3	0.3	1.0	0.3	0.8	1.1	1.1	0.6	1.0	1.2
その他建設投資	-0.3	-1.5	-0.2	0.0	1.6	-1.4	0.0	1.6	0.8	-1.4	0.5	0.2
輸出	0.9	1.1	1.7	1.5	2.7	1.2	0.2	0.8	0.2	1.3	0.3	1.5
輸入	1.1	1.3	1.6	1.4	2.5	0.8	1.2	1.5	-0.1	1.4	-0.1	2.0

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

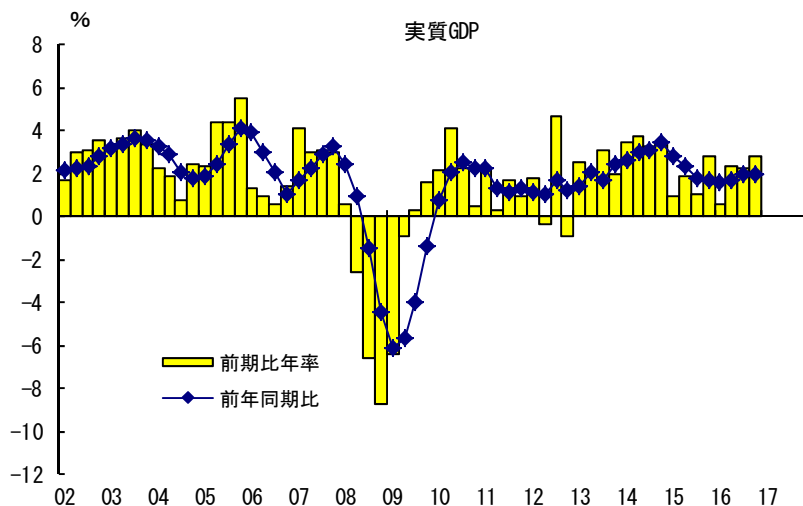
	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.34	0.17	0.37	0.43	0.81	0.39	0.28	0.50	0.52	0.33	0.42	0.41
個人消費	-0.02	0.16	0.20	0.29	0.26	0.25	0.23	0.20	0.39	0.19	0.18	0.24
政府消費	-0.02	0.03	0.09	0.05	0.07	0.06	0.11	0.11	0.14	0.07	0.02	0.09
総固定資本形成	0.12	-0.12	0.11	0.12	0.32	0.00	0.15	0.28	0.07	0.25	-0.14	0.11
設備投資	0.08	0.03	0.11	0.11	0.20	0.05	0.11	0.15	-0.02	0.29	-0.22	0.04
住宅投資	0.06	-0.08	0.01	0.02	0.05	0.02	0.04	0.06	0.05	0.03	0.05	0.06
その他建設投資	-0.02	-0.08	-0.01	0.00	0.08	-0.07	0.00	0.08	0.04	-0.07	0.03	0.01
在庫変動	0.32	0.15	-0.12	-0.13	-0.05	-0.15	0.19	0.18	-0.23	-0.18	0.18	0.09
輸出	0.38	0.47	0.75	0.69	1.23	0.56	0.11	0.38	0.08	0.60	0.16	0.70
輸入	-0.45	-0.52	-0.64	-0.58	-1.03	-0.33	-0.50	-0.64	0.05	-0.61	0.02	-0.84
純輸出	-0.07	-0.04	0.10	0.11	0.21	0.23	-0.39	-0.27	0.13	-0.01	0.18	-0.14

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 英国経済は 16 年 Q4 は前期比+0.7%成長で、16 四半期連続のプラス成長
- 2016 年の成長率は前年比+1.8%となったが、個人消費が同+3.0%と力強く拡大。一方、総固定資本形成は同+0.5%にとどまった
- 2016 年の輸出は前年比+1.4%と伸び悩み、しかも輸入が同+2.5%と輸出の伸びを上回ったため、純輸出寄与度は-0.4%pt となって成長率を押し下げた



	2016
民間消費	65.2
政府消費	19.0
総固定資本形成	16.6
政府部門	2.6
企業部門	9.3
民間住宅投資	3.3
輸出	28.1
輸入	29.9

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.7	0.2	0.6	0.6	0.7
個人消費	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.5	1.0	0.4	0.9	0.7	0.8	0.7
政府消費	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	0.9	0.6	-0.2	0.4	0.1	0.0	0.2
総固定資本形成	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.8	-0.9	0.1	-0.2	0.9	0.0
政府部門	16.1	-20.5	9.1	-0.6	1.0	-0.8	-1.6	-0.3	1.1	-1.2	5.4	-0.7
企業部門	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.7	-0.3	1.9	-2.4	-1.1	0.6	0.7	-1.0
民間住宅投資	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.7	4.3	-1.7	1.8	1.8	0.4	-0.7	1.8
輸出	2.6	-0.3	-1.3	4.0	3.2	-0.7	-0.6	5.9	-2.9	1.2	-2.6	4.1
輸入	-0.1	-1.3	1.1	2.8	4.1	-2.3	0.6	2.1	0.3	0.4	1.3	-0.4

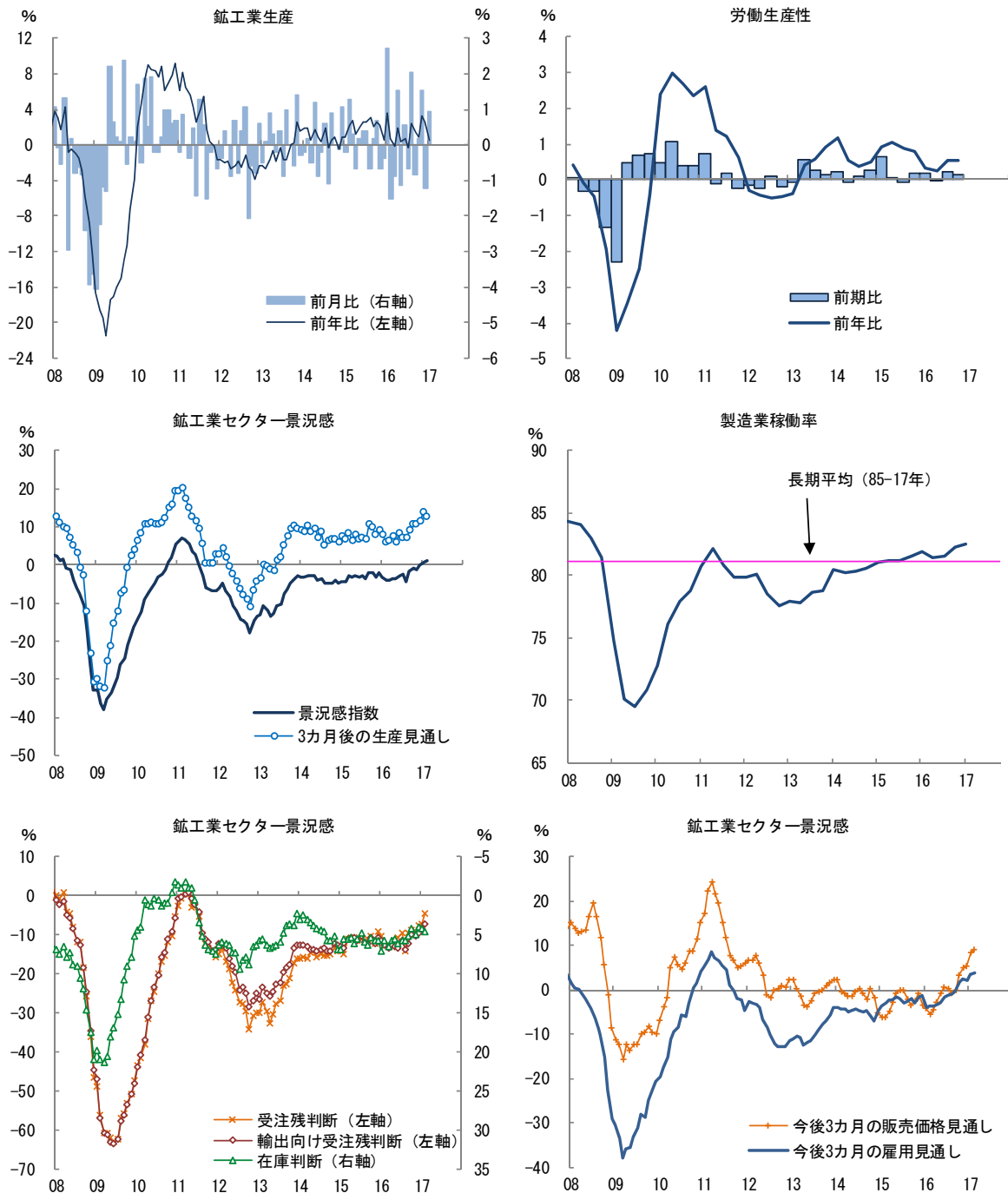
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.85	0.93	0.81	0.83	0.25	0.48	0.27	0.69	0.15	0.58	0.56	0.71
個人消費	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.49	0.31	0.63	0.27	0.58	0.49	0.54	0.47
政府消費	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.08	0.18	0.11	-0.03	0.08	0.01	-0.01	0.04
総固定資本形成	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.24	0.21	0.13	-0.15	0.01	-0.03	0.16	0.00
政府部門	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.03	-0.02	-0.04	-0.01	0.03	-0.03	0.13	-0.02
企業部門	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.25	-0.03	0.19	-0.23	-0.11	0.05	0.06	-0.10
民間住宅投資	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.06	0.14	-0.06	0.06	0.06	0.01	-0.02	0.06
在庫変動	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.29	-0.81	-0.26	-0.55	0.20	-0.29	1.03	-1.15
輸出	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.94	-0.22	-0.18	1.76	-0.91	0.37	-0.80	1.20
輸入	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.32	0.77	-0.18	-0.68	-0.11	-0.12	-0.44	0.12
純輸出	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.38	0.55	-0.36	1.08	-1.02	0.24	-1.24	1.32

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比+0.9%と12月の同-1.2%から反発したものの、前年比伸び率は+0.6%に減速し、改善傾向にある企業景況感と乖離が見られる
- 2月の鉱工業セクター景況感は小幅に改善し、2011年6月以来の高水準。構成項目のうち、受注残判断の改善が目立つ
- 16年Q4の労働生産性は前期比+0.2%、前年比+0.5%と小幅の伸びにとどまった

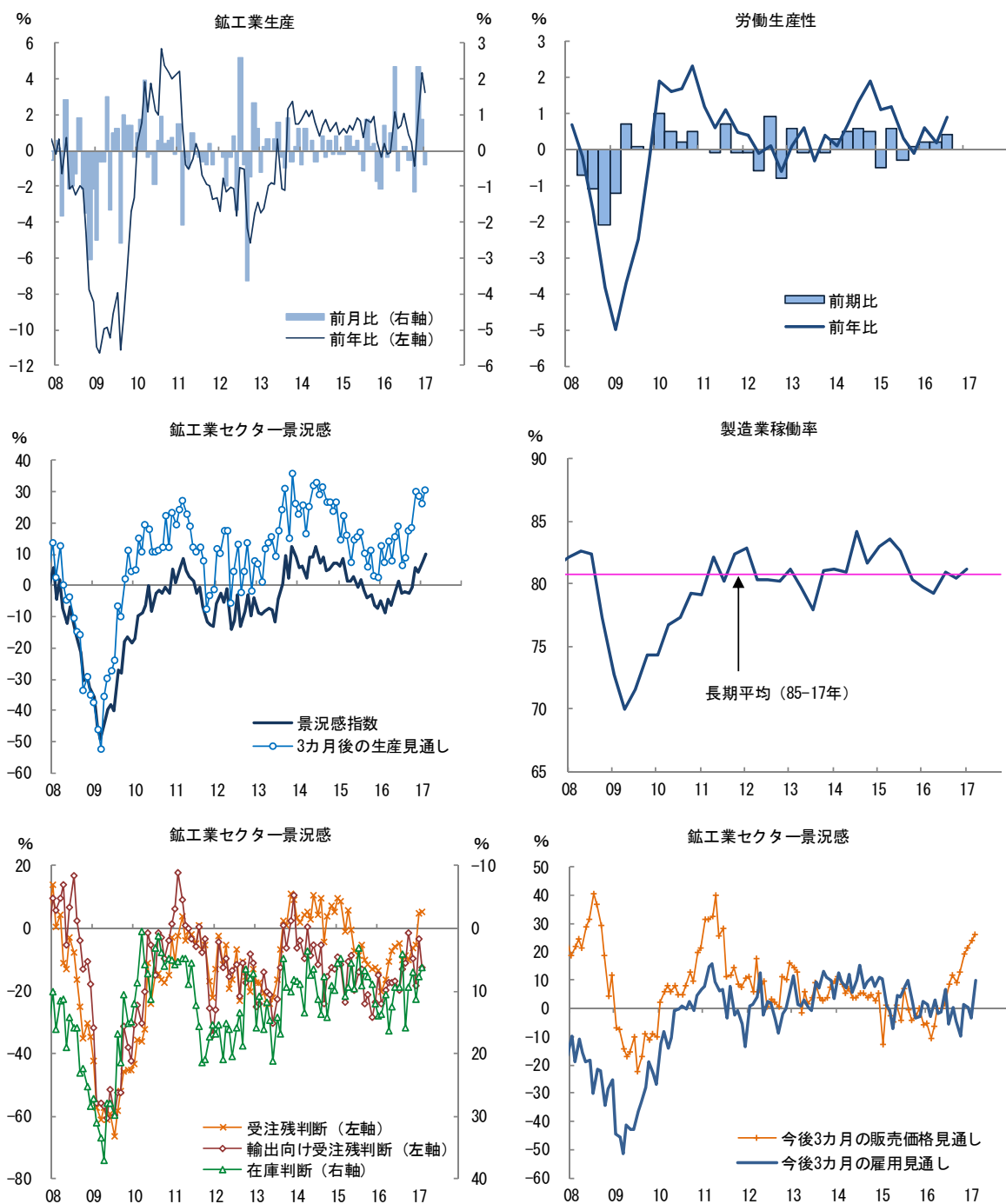


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比-0.4%と3カ月ぶりに落ち込んだが、前年比は+3.2%と堅調
- 2月の鉱工業セクター景況感是一段と改善し、2014年6月以来の高水準。構成項目である受注残判断、在庫判断、生産見通しがそろって改善した
- 2月の鉱工業セクターの販売価格見通しは一段と上昇し、2011年6月以来の高水準

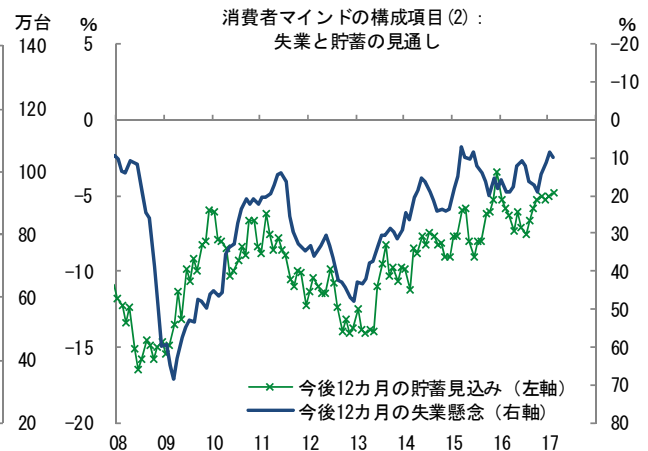
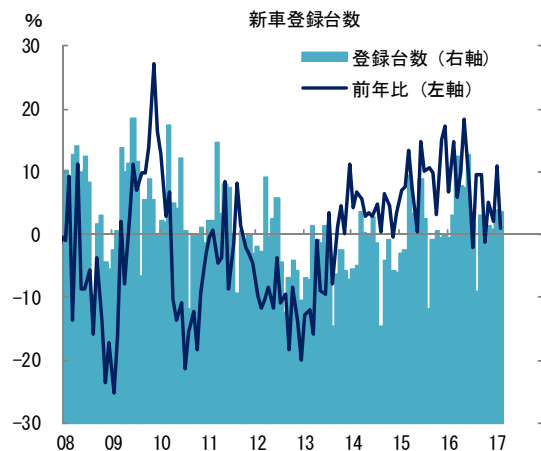
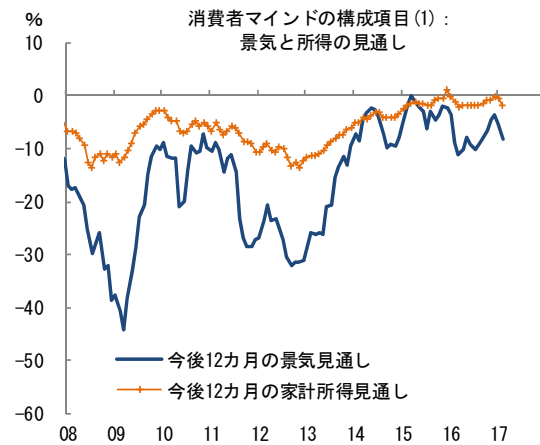
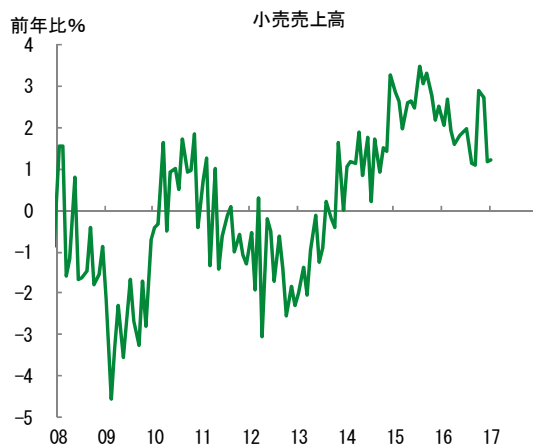
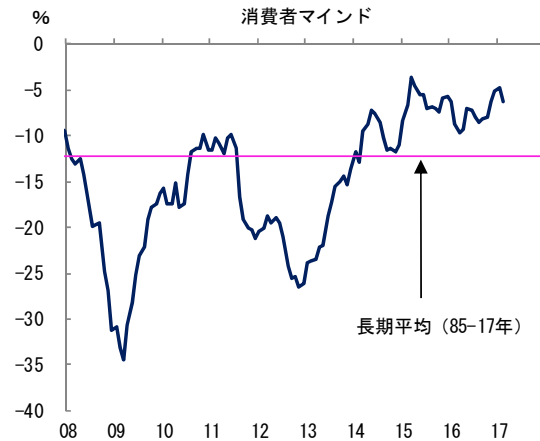
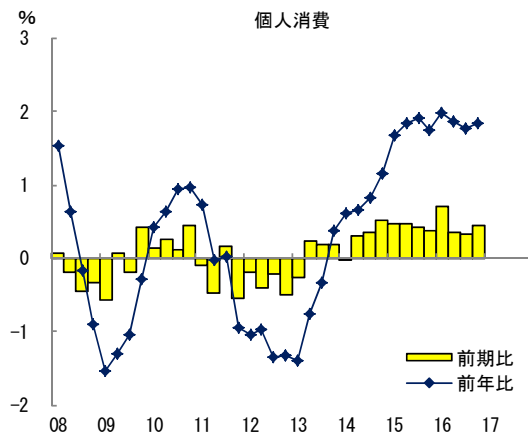


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 1月の小売売上高は前年比+1.2%と12月と同水準
- 2月の新車登録台数は前年より1営業日少ないこともあって前年比+1.0%と急減速
- 2月の消費者マインドは-6.2%と6カ月ぶりに前月比で悪化した。景気見通しの悪化が、失業懸念と家計所得見通しの悪化につながっている

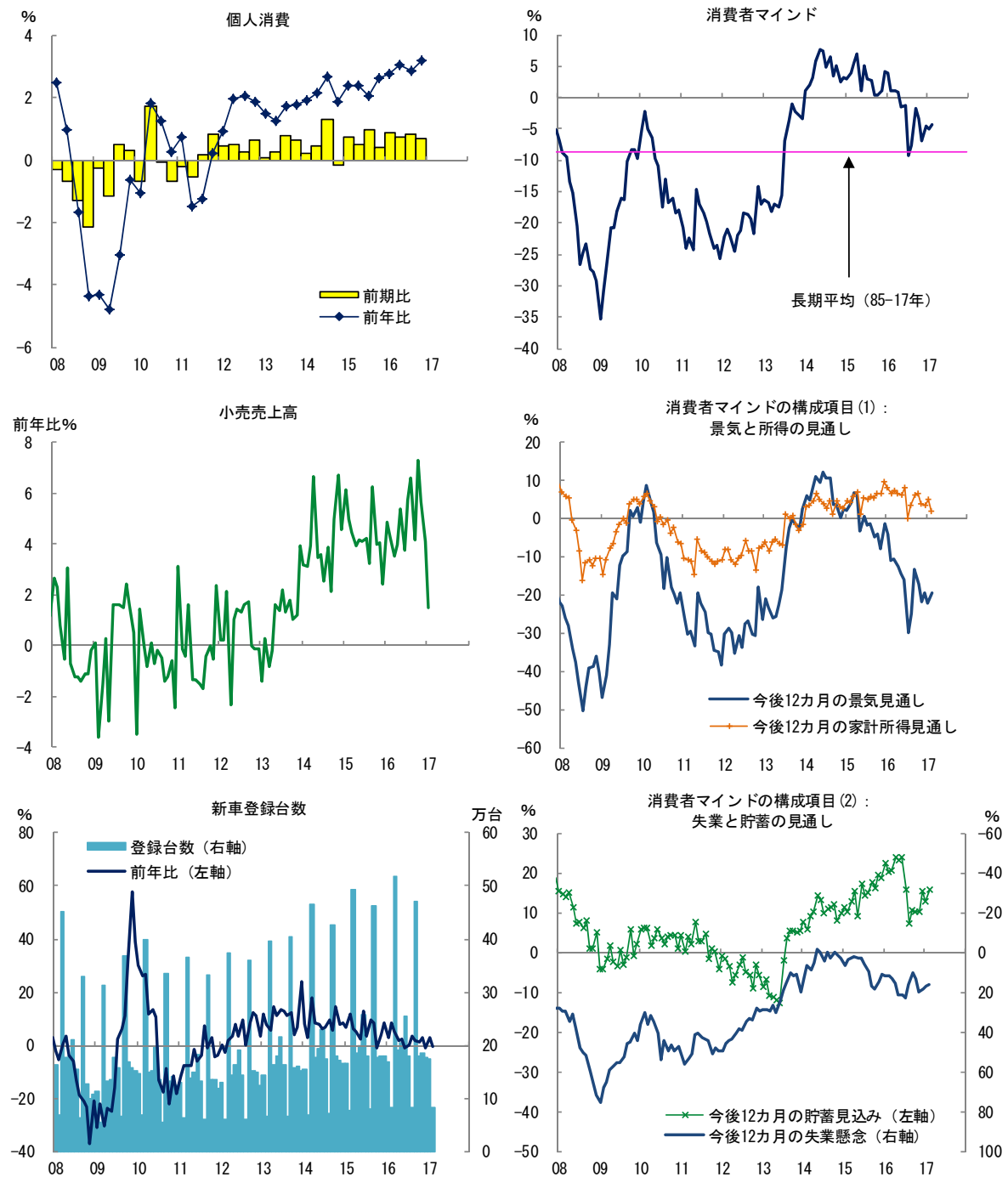


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 1月の小売売上高はガソリンと食品の価格上昇が重石となって前年比+1.5%へ急減速
- 2月の新車登録台数は前年比-0.3%と落ち込んだ
- 2月の消費者マインドは-4.3%と85年以降の長期平均は上回っている。ただし、景気見通しが停滞する中で家計所得見通しもやや軟調になってきた

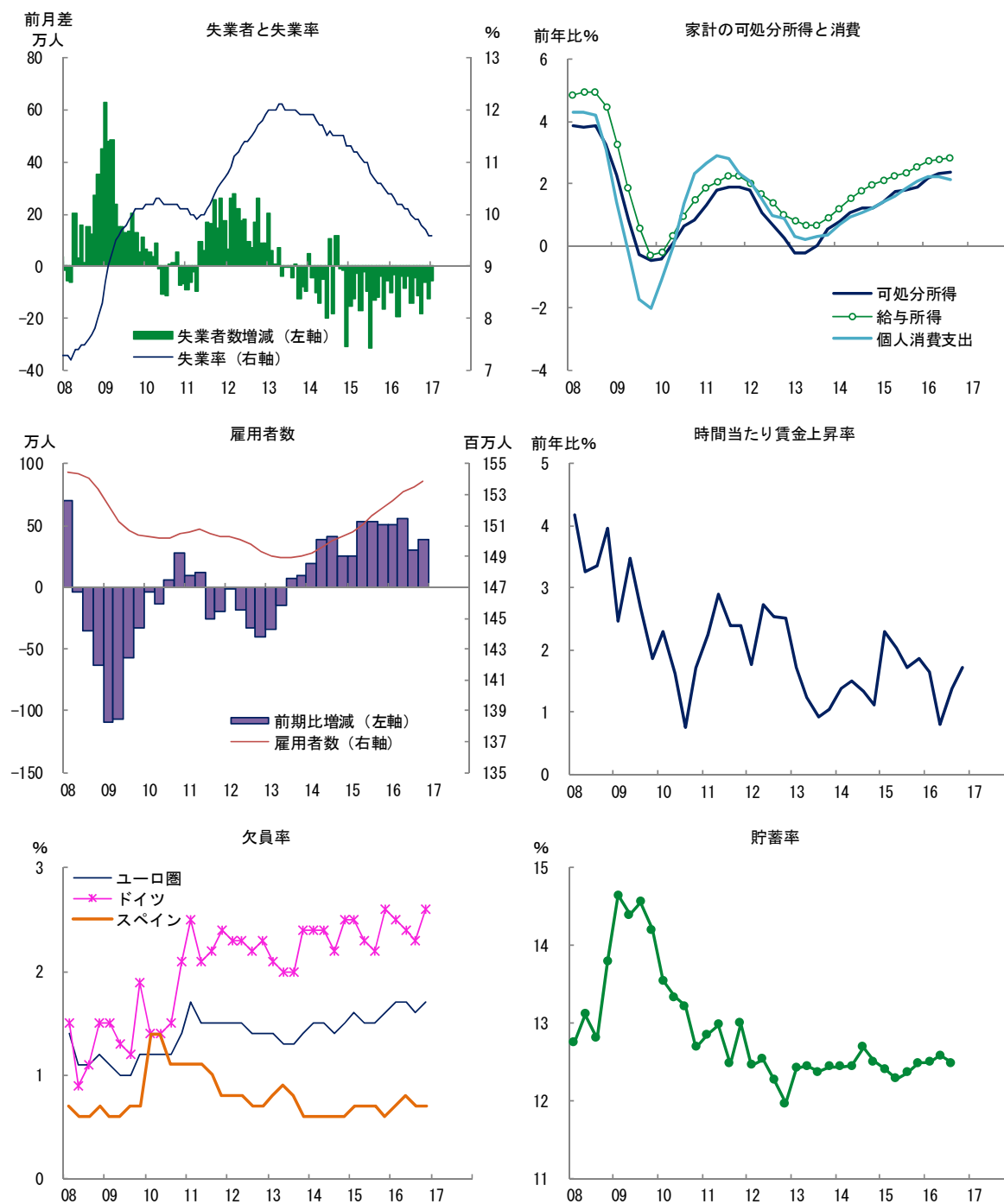


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 1月の失業率は09年5月に並ぶ低水準である9.6%
- 16年Q4の雇用者数は1億5,388万人と08年Q3以来の高水準。前期比での雇用者数増加は14四半期連続となっている
- 16年Q4の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.7%へ加速した

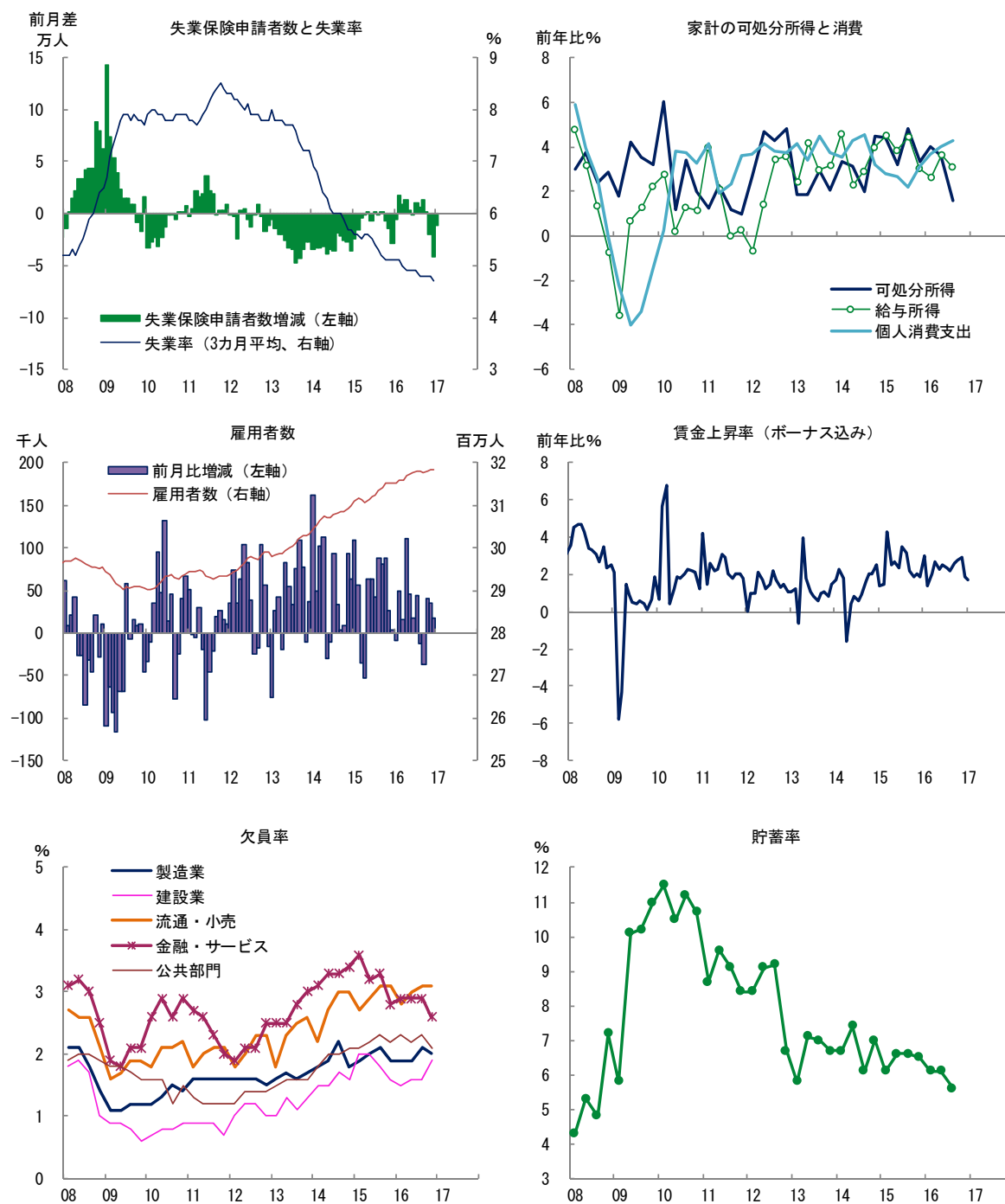


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 11-1月平均の失業率は4.7%と6年4カ月ぶりの水準に低下。また、失業保険申請者数は12月から2月まで3カ月連続で減少している
- 16年Q4の欠員率は建設業で上昇した一方、金融・サービス業、公共部門では低下
- 1月の賃金上昇率は前年比+1.7%に減速し、11-1月平均でも同+2.2%と減速している

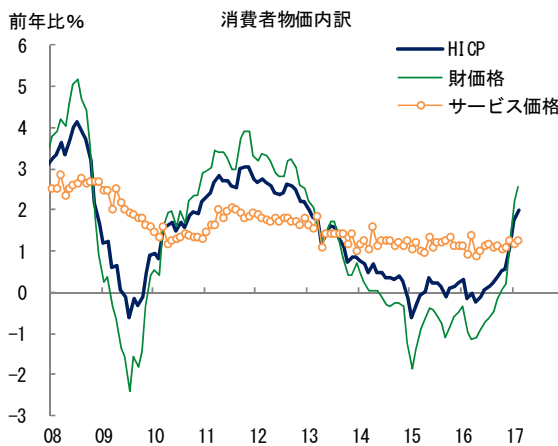
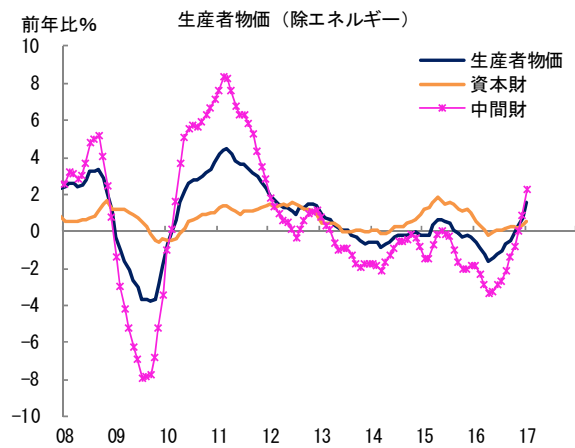
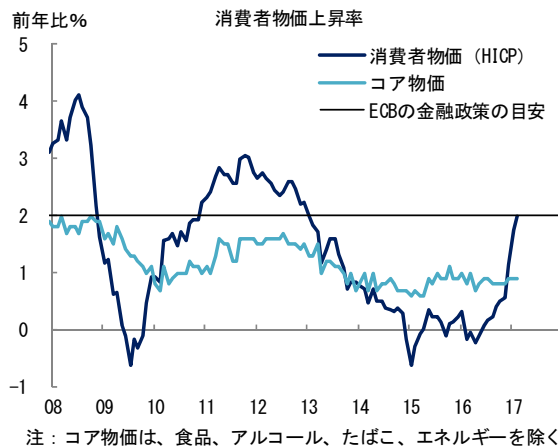


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

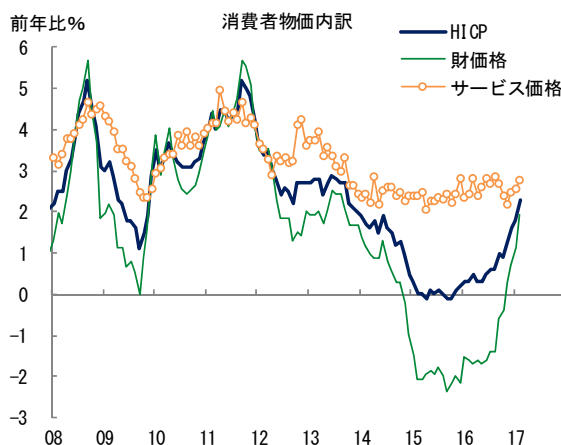
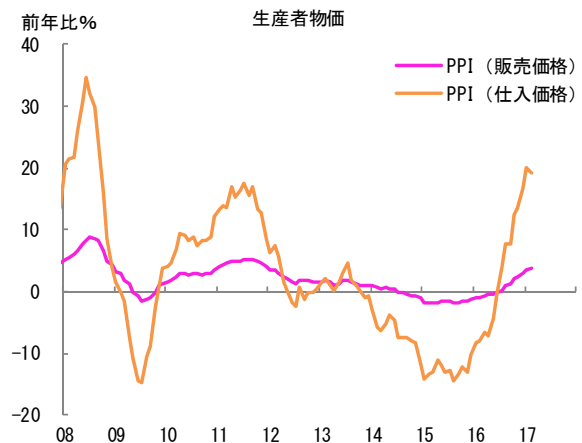
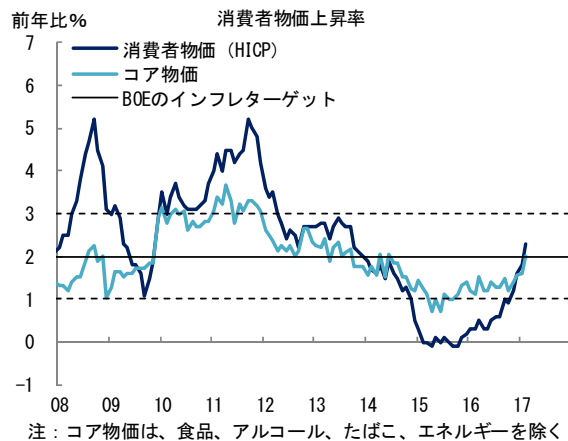
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.0%と13年1月以来の水準に加速。原油価格上昇が主因であり、コア物価上昇率は同+0.9%にとどまっている
- 輸入物価は13年以降は総じて前年比マイナスで推移してきたが、16年11月に同プラスに転じ、12月は同+5.0%と12年9月以来の高い伸びとなった
- 2月の原油価格（北海ブレント）は1バレル当たり54.9ドルとごく小幅に続伸



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

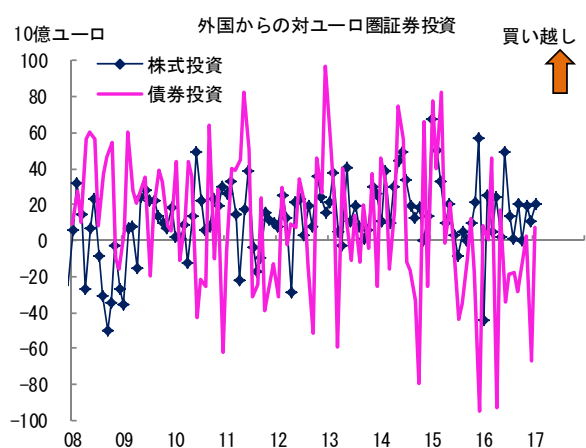
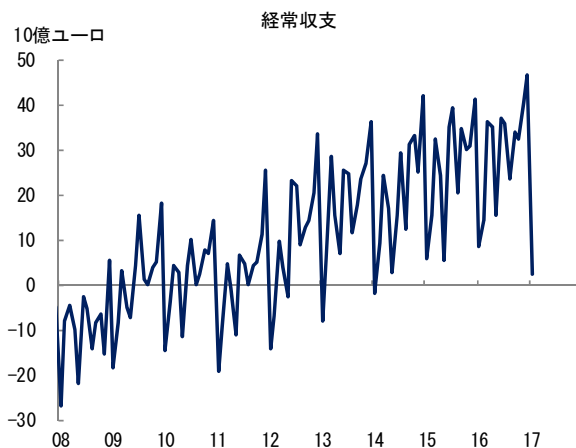
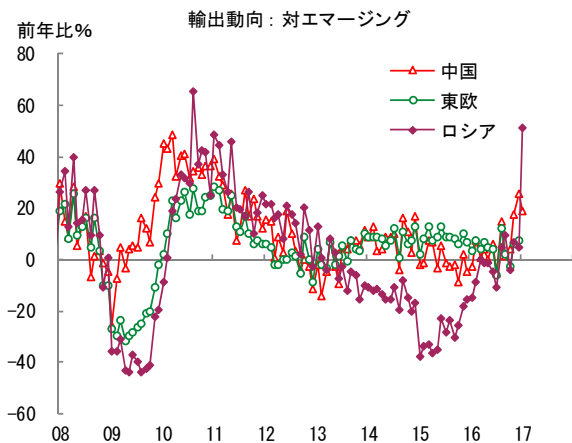
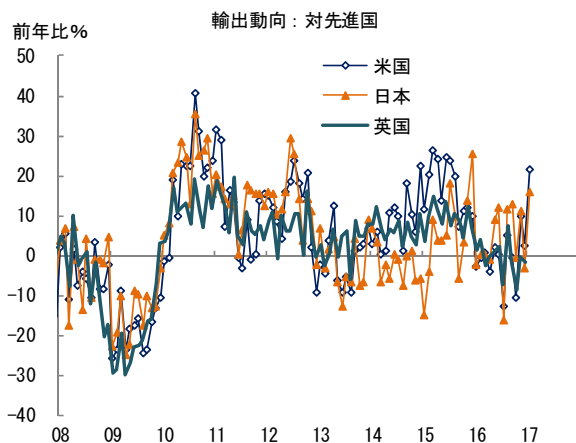
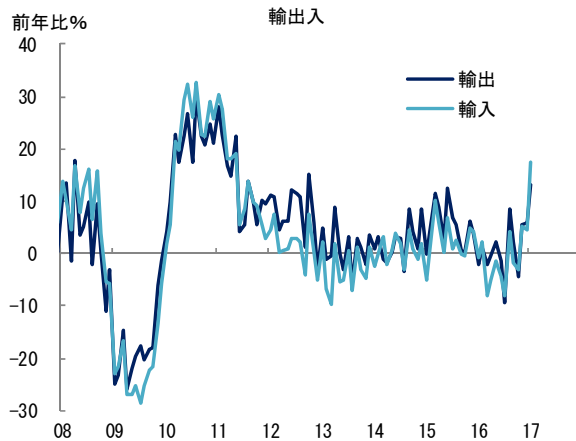
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.3%と13年9月以来の高い伸びとなり、インフレーションターゲットの中心値である同+2.0%を上回った
- エネルギーなどを除くコア物価上昇率も2月は同+2.0%に加速した。原油高とポンド安を受けた輸入物価上昇が押し上げ要因となっている
- 2月のポンドの実効為替レートは小幅反発したが、前年比では-10.4%と大幅な落ち込み



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

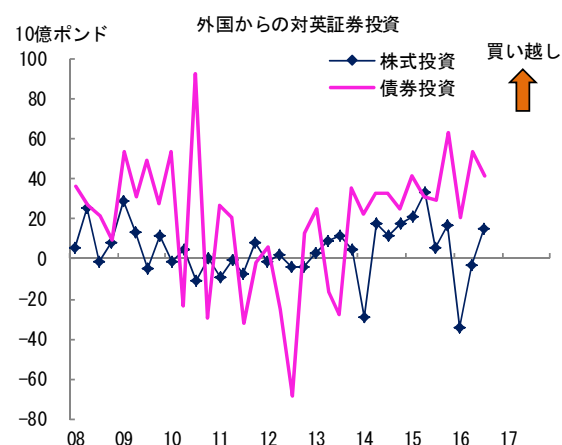
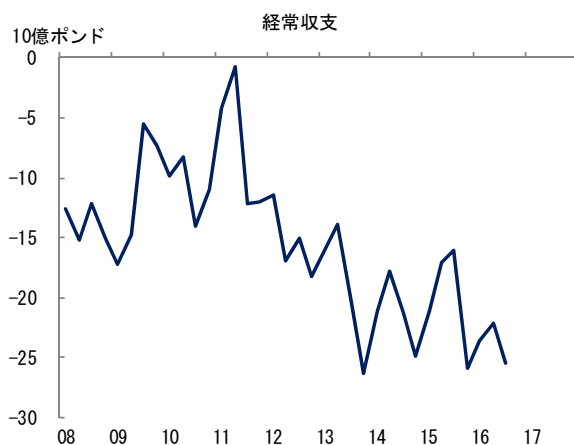
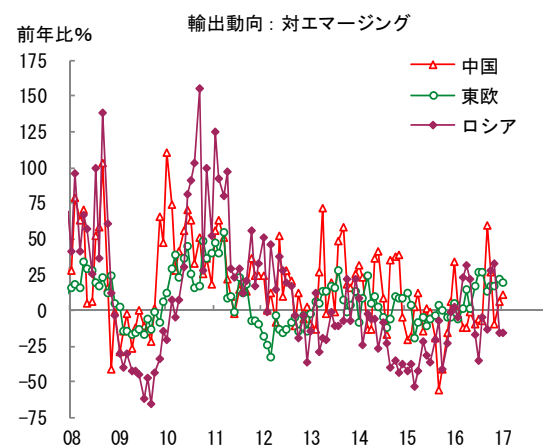
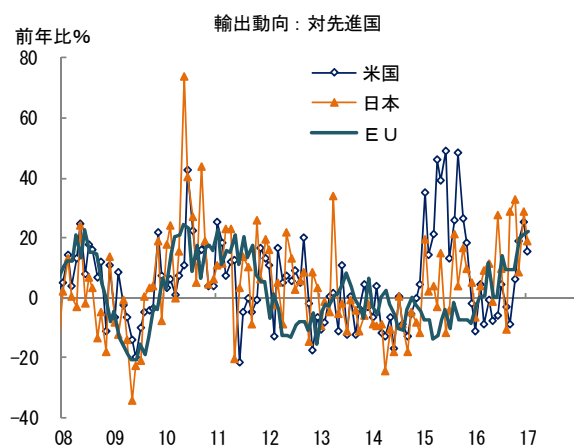
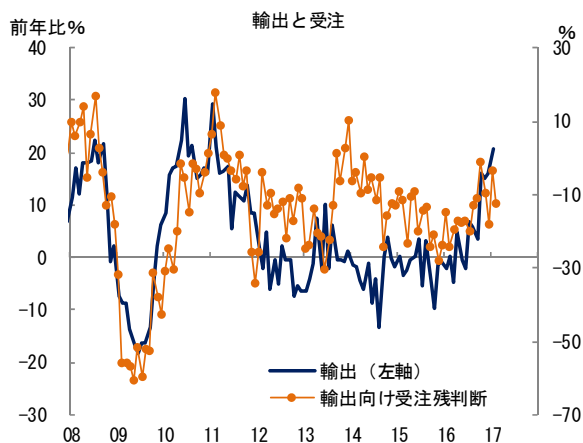
- 1月の輸出は前年比+13.1%、輸入は同+17.4%とそろって大幅拡大
- 1月の相手先別輸出は米国向けが前年比+21.6%、中国向けが同+19.2%となったほか、ロシア向けは同+51.6%と急拡大。原油高などにより輸出物価が上昇したことも一因
- 1月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、12月に大きく売り越されていた債券投資が小幅ながら買い越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 1月の輸出は前年比+20.7%、輸入は同+19.8%とそろって二桁の伸び
- 1月の輸出を相手先別に見ると、シェア48%のEU向けが前年比+22.3%、シェア18%の米国向けが同+15.3%と主要先進国向けが大きく伸びた
- なお、1月の輸出は中国向けが前年比+11.5%、東欧向けが同+19.3%とエマージング諸国向けも概ね高い伸びを記録した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成